

2019年度第3回 長崎大学経済学部 ファカルティセミナー

標記セミナーを下記要領にて開催いたします。教職員、大学院生、学部学生の参加をお待ち申し上げます。各位ふるってご参加ください。

記

日 時：2019年11月20日（水）16：10～18：00

場 所：東南アジア研究所1階ファカルティセミナー室

報告者：森保 洋 教授（阿萬弘行教授(関西学院大学)との共著）

タイトル：企業情報が株式流動性に与える効果に関する実証分析

要 旨：本稿では、日次レベルでの株式市場への企業情報流入が株式流動性に与える影響について、ディスクロージャー情報とマスメディア報道（新聞記事情報）を用いて検証する。決算などの法定開示による利益情報は、多くの投資家にとって最も重要な情報源であることは広く認知されている。他方で、現実の情報伝達経路では、直接的に投資家が開示情報を得るだけでなく、新聞報道などのマスメディアを通じた経路もまた存在する。マスメディアは、情報普及の範囲を拡大する点だけでなく、独自の新情報提供あるいは調査報道を通じて、固有の情報伝達機能をもちうる。本稿では、相異なる情報経路を同時に含む分析によって、投資家間の情報非対称性ひいては株式流動性への効果について明らかにする。

本稿での実証分析結果は、二つの情報フローは異なった働きをするという結論を得た。ディスクロージャーは、情報流入時点において、情報非対称性の拡大を通じて、株式流動性を低下させている。ところが、興味深いことに、マスメディア情報は、単独の効果として、情報非対称性を縮小し、流動性を改善させている。同時に、マスメディア情報は、ディスクロージャーによる情報格差拡張効果を抑制する相互効果も部分的に有している。そして、このマスメディア効果は、個人投資家層の多い企業において顕著に現れている。